

TANO

センサーを使った介護予防システム

株式会社ラッキーソフト

Tel 0463-23-7830 Fax 0463-23-7833



(オープン価格)

01. 製品概要

センサーの前に立つだけで、体の動きそのものがコントローラーとなり、運動・発声・脳トレが行える介護予防システムです。簡単操作で画面上に楽しいプログラムが広がるので、お子様から高齢者まで対象を限定せず、人数も1人～複数人で実施・交流できることが魅力です。理学療法士等専門家の監修により、リハビリテーションに適した体の動きをゲームのような楽しいプログラムに反映し、運動と意識せずに自然に体が動くリハビリテーショントレーニングツールとなっております。また、利用者様の要望やご意見をプログラムに生かした結果、「こんな運動がしたかった」と誰もが共感し、挑戦してみたいくなるような、楽しい製品となりました。

02. 開発背景

弊社はモーションセンサーを活用した3D空間の疑似体験訓練教材を開発しております。弊社代表の家族が、転倒後外出に消極的になったことから、自社の技術を応用し、室内でも手軽に楽しく「散歩の疑似体験」ができるシステムを開発したことが「TANO」誕生のきっかけです。介護者の負担軽減や、利用者が楽しくレクリエーション・運動できるプログラムを追及し、施設や大学・理学療法士等の助言を元に現在の「TANO」となりました。

03. 開発の意義

超高齢社会の我が国が目指す社会は、「健康寿命の延伸」や障がいや高齢であっても、他者に気兼ねすることなく、自分で「運動や社会参加を楽しむ」「自分らしい生活」を確立することです。「TANO」は運動と意識せずに、誰もが体を動かすことをゲームのように楽しみ、皆で笑い会話が広がるツールとなる製品です。福祉施設のみならず、交流スペース等で活用し、笑い、運動することで認知症

予防や健康増進、自立支援が期待できます。

04. 創意工夫

神奈川県事業「ロボット体験キャラバン」「生活支援ロボットモニター」に応募し、モニターのニーズや製品の課題を開発に生かしております。また、神奈川県「平成27年度公募型「ロボット実証実験支援事業」にて、「高齢者の未病対策に活用できるレクリエーションシステム」として実証実験を行い、理学療法士等専門家の監修の元、運動効果を高める動きをプログラムに反映しました。モニターの「プールで泳ぎたかった」「声援があるとやる気になる」等、やりたかったこと、モチベーションアップとなる意見を開発に生かした結果、高齢の方・障害の方・介護者にも共感していただける製品となりました。誰もが楽しむ為に工夫した点は、「簡単な操作」と「個人の状態に合わせ、難易度等各種設定ができる」ことです。ゲームコントローラー等難しい操作はなく、センサーの前で運動・発声することで、プログラムが進行していくシンプルなシステムとなっております。

05. メッセージ

体を動かしたり大きな声を出すこと、笑い合うことはとても気持ちが良いことです。「画面の得点で、前回の自分と比べてどうだったか結果がわかる」「画面に夢中になって動いたら、いつもより長く運動できた」等、「TANO」のモニターの方から多数気づきの声をいただいております。認知症の方や、障害をお持ちの方も、普段と違う、ご自分の大きな声や潜在能力に気づいていただきたい、笑ってほぐれて「その方らしさ」を引き出したいと願い、開発しております。本事業に認証されることで、障害者施設や療育施設にも安価で導入していただければと思い、申請いたしました。



かわさき基準認証総合評価コメント

ゲーム感覚でのレクリエーションを好む高齢者や障害のある方などの身体機能の活性化や脳の活性化が図れる点と、子どもと一緒に楽しむことができることから多世代での関係を構築していくことで自立した生活につながると期待できる製品として評価できます。モニター評価時には、「頭の回転が良くなりそう」「楽しみながら脳を使うことや身体を動かすことができた」といった声や、介護者からは「体や脳を動かすきっかけになりうる」といった声が寄せられました。一方で、「何度か行くと飽きてしまう」「身体機能の向上や維持にまでは役立つかはわからない」といった声が寄せられました。本製品を支援の場で活用する際には、利用する方の意思を尊重し選択の権利を確保するとともに、身体機能の活性化を図る支援メニューのひとつとして補助的な利用を行う中で、より良い活用法を模索していくことが、さらなる活用の効果を高めると考えます。介護・介助者負担の軽減に期待できる製品として、かわさき基準の理念における「活動能力の活性化」への適応を評価し、本製品は認証に値するものと判断します。